

案件概要書

2019 年 4 月 23 日

1. 基本情報

- (1) 国名：キルギス及びトルクメニスタン
- (2) 案件名：課題別研修「中央アジア・コーカサス地域総合防災行政」
- (3) 参加者：キルギス非常事態省及びトルクメニスタン民間防衛・救助活動総局職員各 1 名を含む計 6 名
- (4) 計画の要約：
中央アジア・コーカサス地域における防災・減災能力の向上を目的とし、日本の法制度、行政機構、関係機関の役割等に関する基本的な知識や経験を学ぶもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

本研修は、中央アジア・コーカサス地域における防災・減災能力の向上を目的とし、同地域内の中央・地方政府の防災担当者を対象とした研修である。本研修では、日本が蓄積してきた自然災害への取組、法制度、行政機構、関係機関の役割等に関する基本的な知識や経験を共有し、本研修を通じて研修員は自らの国における仙台防災枠組の実施に係る問題点等を確認し、それを解決するための具体的なアクションプランを作成することが期待されている。

キルギス非常事態省は、キルギス政府における中央機関と位置付けられる。同省は、同国の国防関係機関である国防委員会の傘下にはない民生機関であるが、民間防衛を担当する機関であり、職員に軍籍を付与している。なお、キルギス政府においては、非常事態省の他に、税務、税関、国境警備等の期間に属する職員には軍籍が付されている。

トルクメニスタン民間防衛・救助活動総局は、国防省傘下の部局である。同局は、同国政府における中央防災機関として、国内の各省・研究所等と連携した防災活動計画の取りまとめ、災害リスク削減施策や防災教育の実施、災害後の応急対応及び復旧を所掌している。

中央政府及び自治体レベルにおける防災に関連した政策整備や事業推進を通じ、地震等の災害に係る被害軽減、発災時の迅速な対応や復旧復興を図るためには、キルギス及びトルクメニスタン両国の上記所属先の中核人材の能力強化が必要不可欠である。

本計画を通じて、両国の安定と経済的発展を支援していくことは開発課題解決への寄与および二国間関係の促進に加え、中央アジア・コーカサス地域全体の安定化の観点からも重要である。

- (2) 当該国における防災セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

キルギスに対する支援の重点分野（中目標）の一つに、社会インフラの再構築が掲げられている。さらに、我が国はトルクメニスタンと中央アジアの地域協力に資する開発計画を支援していくことを基本方針とし、その重点分野の一つに「防災を含む基礎社会サービス」が掲げられている。よって、キルギス及びトルクメニスタ

ン両国が直面する課題に適切に対応していくための支援として、本研修は重要と考えられる。

3. 計画概要

(1) 計画概要

中央アジア・コーカサス地域は日本と同様に自然災害が数多く発生し、これら自然災害による人的・経済的損害が同地域の開発にとって大きな阻害要因の一つとなっている。本研修は、日本が過去の多種多様な自然災害を通じて蓄積してきた経験と教訓に基づく防災行政に関する基本的な知見やノウハウを総合的に学べるようプログラムを設計し、研修参加者が自国の防災行政の改善に係るアクションプランを策定するとともに、研修を通じて参加国間で知識及び経験を共有し、中央アジア・コーカサス地域における防災・減災社会のネットワーク構築に貢献することを目的に実施するもの。

(2) その他特記事項

特になし。

以 上